

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	広島支部	(2) 記載者氏名:	佐々木 弘磨	会員番号:	12693	事務局整理記入欄	広島 - 106
分水嶺区分	W574小峰峠 ~ W573小峰山 ~ 高岳分岐西	(3) 山行日:	2006年	2月	25日	(4) 天候:	曇

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

岩内秀昭	11964						
池本喜浩	11953						
佐々木弘磨	12693						
計				3名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	小峰峠 ~ 小峰山 ~ 905m峰 ~ 高岳分岐西												
アプローチ:	広島 ~ 松ノ木峠 ~ 六日市 ~ 米山峠 ~ 小峰峠						高岳分岐西 ~ 小峰谷川林道(幕営地)						
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
分水嶺点 W571	米山峠	筋ヶ岳	131	51	52.62	34	18	8.22	759				(9), (10)
歩行開始点	小峰峠												
分水嶺到達点W574	小峰峠	筋ヶ岳	131	48	21.16	34	18	43.71	717		10:55	A-1	(9), (10)
W573	小峰山	筋ヶ岳	131	48	48.11	34	18	33.35	922	12:30		A-1	(9), (10)
	小峰山東鞍部	筋ヶ岳	131	49	4.65	34	18	27.41	821	12:50		B-3	(9), (10)
	905m峰	筋ヶ岳	131	49	14.89	34	18	15.30	897	13:40		B-3	(9), (10)
	高岳分岐西鞍部	筋ヶ岳	131	49	40.33	34	18	5.09	844	15:20		B-3	(9), (10)
分水嶺離別点	高岳分岐西	筋ヶ岳	131	49	52.84	34	18	2.36	891	15:50		B-3	(9), (10)
	小峰谷川林道終点	筋ヶ岳	131	49	52.59	34	18	9.01	850	16:10		A-2	(9), (10)
歩行終了点	小峰谷川林道(幕営地)	筋ヶ岳	131	49	15.83	34	18	38.57	673	17:40			(9), (10)
総歩行時間(休憩時間を除く):												6時間45分	
総所要時間													

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
W573	小峰山				積雪のため未確認

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

(9) 水および植生に関連した特記事項

県境の北側は高津川水系の支流で小峯谷川、南側は錦川水系の支流で倉谷川である。この稜線一帯は広葉樹林帯で、僅かなブナ林の下には背丈ほどの笹が繁茂する。島根県側に比べ山口県側には針葉樹の杉、檜の植林が散在する。

(10) その他の特記事項

W574小峰峠から南東に伸びる稜線は、大屈曲を経てW572高岳分岐に至る。島根、山口両県にまたがるこの稜線は、県境であり分水嶺で西中国山地の端に位置する。稜線の笹藪を避け積雪期のルートに期待したが、雪が少なく厳しい踏査となる。この時期の広島県境には約1.5m以上の積雪があるが、小峰山付近は残雪が散見される程度であった。踏査後は同ルートを引き返す予定としていたが、二度と歩きたくない気持ちからW572高岳分岐の西から小峯谷川の源流に下る。前調査で予測はしていたが、幸いにも下降地点は小峯谷川沿いの林道終点であった。この川沿いの林道を下降すれば、地方道3号に交わり更にその車道を登れば、取り付きの小峰峠に至ることを確認する。暫く下降したが降雨が激しく体力の消耗を避ける為、時間が早い林道の屈曲地点下流の川沿いで幕営する。あたりには雪も有るが春の兆し、正直なところ老兵組はくたびれて就床する。
--

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: W574A: 小峯谷川林道の入口牧場 W573D: 小峰川林道 W572A: 高岳分岐西の鞍部 W557: 田野原初見 W571C: 米山峠で
--